

平成30年度 事業報告書

社会福祉法人
紫波町社会福祉協議会

目 次

第1 法人運営	1	4 障害者外出介助事業（ガイドヘルパー派遣）	
1 組織		5 基準緩和型サービス（ホームヘルパー派遣）	
2 会費	2	6 元気はつらつサロン「ふれ愛交流館」	11
第2 福祉基金保有高		7 緩和型訪問介護養成研修	
第3 会議・監査会の開催状況		第10 障害者総合支援事業	
1 理事会		障害者居宅介護事業（ヘルパー派遣）	
2 評議員会	3	就労継続支援事業所「けやき学園」	
3 監査会		就労継続支援事業所「さくら製作所」	
4 地域福祉団体との懇談会等		第11 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動の推進	
第4 福祉活動推進事業		1 赤い羽根共同募金	
1 広報	4	2 歳末たすけあい運動	12
2 金婚を祝う会		第12 職員研修	
3 福祉用具の貸出			
4 日常生活自立支援事業の支援		虹の保育園	
5 福祉団体活動支援	5	1 保育実務状況	13
第5 ボランティアセンター事業		2 特別保育実施状況	14
1 手話講座		3 防災訓練・交通安全教室実施状況	
2 お話し相手ボランティア		4 給食実施状況	15
3 配食ボランティア		5 衛生状況	16
4 高齢者サロン「いこいの家」ボランティア		6 児童の健康診断実施状況	
5 ボランティア活動保険加入状況	6	7 保護者との連携	
6 フードバンクへの協力		8 地域交流	17
7 東日本大震災・豪雨被災地支援		9 卒園児就学予定小学校との連携	
第6 共同募金配分事業		10 職員の資質向上のための研修	18
1 地域交流イベント「ふれあいフェスタ」		11 諸会議の開催及び参加	
2 ボランティア協力校の指定		12 視察、実習生の受入	19
3 各種団体助成		13 苦情・相談の受付	
第7 紫波町受託事業		14 事故・ヒヤリハット	
1 無料相談事業「ふれあい相談所」	7	地域子育て支援センター	
2 移送サービス		1 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	22
3 高齢者サロン「いこいの家」助成事業		2 子育て等に関する相談・援助の実施	23
4 高齢者ふれあい交流会	8	3 地域の子育て関連情報の提供	
5 障がい者スポーツ交流会		4 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施	
6 元気はつらつサロン「ふれ愛交流館」		5 地域支援活動の実施	
7 基準緩和型サービス（要支援者へのヘルパー派遣）		6 世代間交流	24
8 障害者外出介助事業（ガイドヘルパー派遣）		7 特別支援活動の実施	
9 虹の保育園		けやき学園	
10 地域子育て支援センター		1 事業所運営に関すること	25
第8 資金貸付事業		2 利用者支援に関すること	
1 たすけあい金庫		3 その他の事業・活動について	27
2 生活福祉資金	9	さくら製作所	
第9 介護事業		1 事業運営に関すること	28
1 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）		2 利用者支援に関すること	
2 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）		3 生産活動の状況	29
3 障害者居宅介護事業（ホームヘルパー派遣）	10	4 その他の事業・活動について	

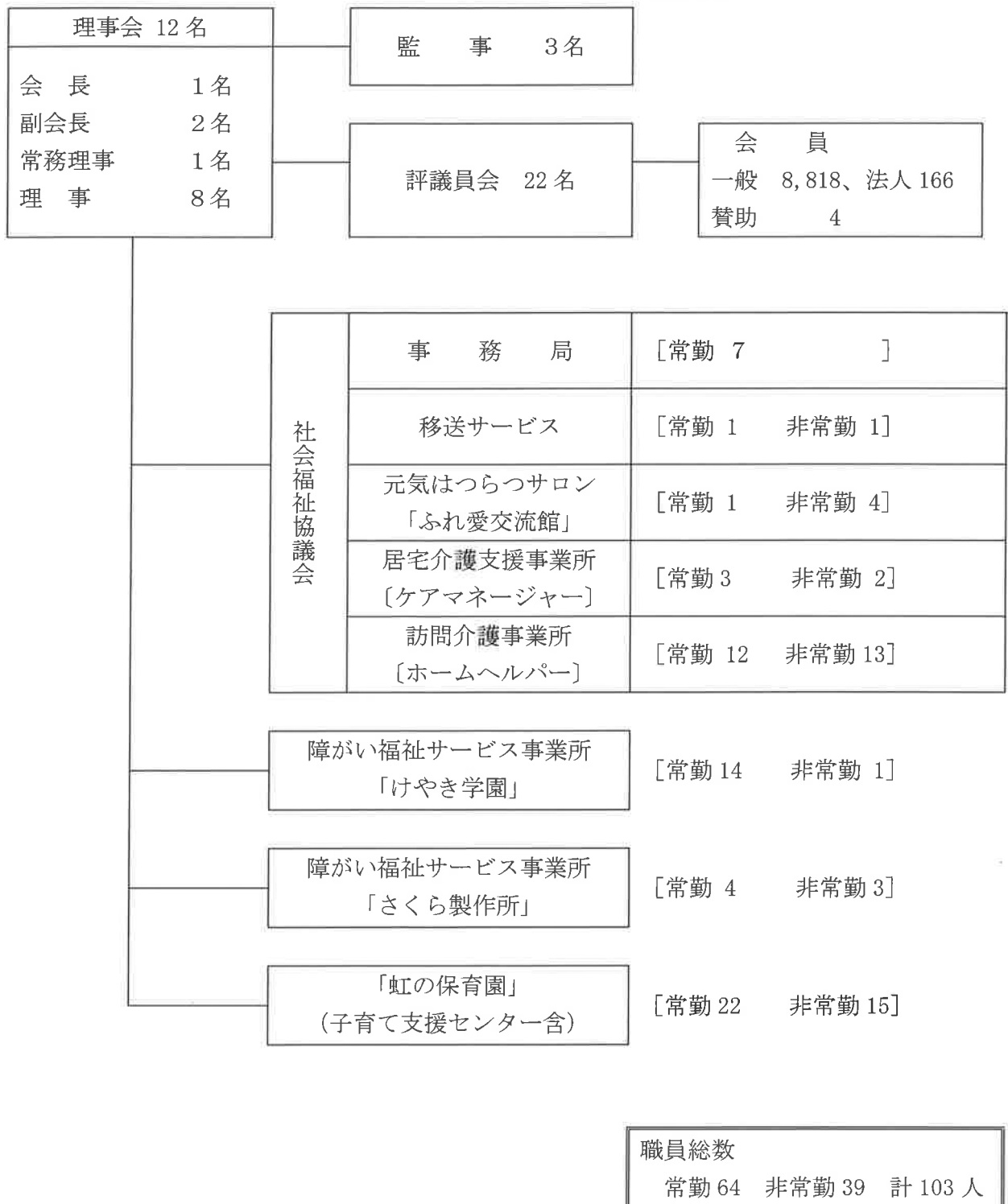
平成 30 年度

紫波町社会福祉協議会 事業報告書

第 1 法人運営

1 組織

平成 30 年度組織図（3 月末現在）



2 会 費

(1) 会 費

・個人会費 1,000 円 ・法人、賛助会員 3,000 円

(2) 実 績

・個人会費 8,818,500 円 ・法人会費 671,000 円 (166 法人)
 ・賛助会費 75,000 円 (4 団体) ・合 計 9,564,500 円

第 2 福祉基金保有高

前期末残高	当期取崩額	当期積立額	当期末残高
53,428,084 円	0 円	463,713 円	53,891,797 円
		〔 寄付金 450,424 〕 〔 利息配当等 13,289 〕	

第 3 会議・監査会の開催状況

1 理事会 理事定数 12 名、(監事 3 名)

	開催月日	出席者	議 題
第 1 回	5 月 18 日	10 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度事業報告、決算 ・平成 30 年度補正予算(第 1 号) ・評議員候補者の推薦 ・選任解任委員会の招集 ・定時評議員会の招集
第 2 回	10 月 19 日	11 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・虹の保育園の公私連携型保育所移行 ・評議員会の招集
第 3 回	12 月 14 日	11 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度補正予算 (第 2 号) ・評議員会の招集
第 4 回	3 月 8 日	11 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部変更について ・保育所管理運営規程の一部改正について ・有期契約職員就業規則の一部改正について ・無期転換職員就業規則の一部改正について ・職員給与規程の一部改正について ・平成 30 年度補正予算 (第 3 号) について ・修繕積立金の取り崩しについて ・平成 31 年度事業計画について ・平成 31 年度予算について ・評議員会の招集について ・事務局長の選任について ・虹の保育園副園長の選任について

2 評議員会 定数 22 名、(監事 3 名)

	開催月日	出席者	議 題
第 1 回 定時評議員会	6 月 8 日	20 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度事業報告、決算 ・平成 30 年度補正予算(第 1 号) ・紫波町社会福祉協議会役員の選任
第 2 回	10 月 26 日	20	<ul style="list-style-type: none"> ・虹の保育園の公私連携型保育所移行
第 3 回	12 月 21 日	19	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度補正予算 (第 2 号)
第 4 回	3 月 18 日	15	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部変更について ・有期契約職員就業規則の一部改正について ・無期転換職員就業規則の一部改正について ・平成 30 年度補正予算 (第 3 号) について ・修繕積立金の取り崩しについて ・平成 31 年度事業計画について ・平成 31 年度予算について

3 監査会

	開催月日	監 査 内 容
第 1 回	5 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 1 月～3 月事業内容 ・平成 29 年度 1 月～3 月定例監査 ・平成 29 年度決算監査
第 2 回	7 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度 4 月～6 月事業内容 ・平成 30 年度 4 月～6 月定例監査
第 3 回	10 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度 7 月～9 月事業内容 ・平成 30 年度 7 月～9 月定例監査
第 4 回	1 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度 10 月～12 月事業内容 ・平成 30 年度 10 月～12 月定例監査

4 地域福祉団体との懇談会等

	開催月日	出席者	内 容
地区社会福祉協議会との懇談会	7 月 27 日	9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動計画と町社協事業の説明と懇談
町内社会福祉法人との懇談会	10 月 10 日 3 月 22 日	延 20	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動計画と法人連携取組みについて
町内社会福祉法人実務連絡会	11 月 27 日 から 4 回	延 25	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進事業の検討と調査 事業は買物支援サービス
地域福祉活動計画策定委員との懇談	2 月 22 日	12	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動計画の進捗状況報告とアクションプランについて意見交換
紫波型地域食堂の開催協議	3 月 19 日	5	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂を地域の方々とともに安心感がある居場所の提供を目指して開催協議

第4 福祉活動推進事業

1 広報

(1) 社会福祉協議会広報紙「社協だより」の発刊

社会福祉協議会事業の紹介の他、福祉情報を提供しました。

- ・発行回数 6回（全世帯と法人会員に配布）

(2) 「福祉声のおたより」の発行

朗読ボランティア「銀の鈴」の協力を得て、広報紙をCDやカセットテープに録音し、視覚障害者へ提供しました。

- ・録音項目 町広報、町議会報、社協広報他町内関連文書
- ・会 員 7名
- ・利用者 11名

2 金婚を祝う会

長年苦楽を共に歩んできた夫婦の結婚50周年を祝い「金婚を祝う会」を開催しました。

- ・期 日 11月18日（日）
- ・場 所 ラ・フランス温泉館 ホテル湯楽々
- ・参加者 2組、4名
- ・記念写真・郷土芸能、50年の思い出ビデオレター

3 福祉用具の貸出

(1) 車椅子貸出（保有16台）

歩行困難者の日常生活支援のため、6ヶ月間を限度に車椅子を無料で貸出しました。

- ・貸出延数 23台（町民16台、小学校4台⇒日詰4、古館地区社協3）
- ・貸出期間 1日4件、2～7日14件、8日～3ヶ月5件

(2) 福祉教育用具貸出

学校の福祉教育推進のため、福祉用具を無料で貸出しました。

- ・貸出延数
高齢者疑似体験セット（保有19セット） 1回（二中1）
白杖（保有39セット） 1回（日詰小1）
点字器（保有39セット） 3回（日詰小1、赤石小1、星山小1）

4 日常生活自立支援事業の支援

(1) 障がい者や高齢者の金銭管理を支援した。

- ・利用者数 14名（3月末現在）
- ・生活支援員（紫波町担当） 3名（週1～2回訪問）

(2) コミュニティソーシャルワーカー（CSW）生活困窮相談支援事業

岩手県社会福祉協議会と連携し相談窓口対応を行い、継続的支援を要する場合には本人の自立に向けた支援方針と達成目標等を示し、複合的な生活課題に対して町を含めた関係機関と連携し、個人や世帯の支援を行いました。

相談件数 144件（初回相談45件、継続相談99件）

相談内容 収入・生活費48件、食糧26件、債務25件、健康・精神・介護23件
対人関係12件

5 福祉団体活動支援

(1) 事務を受託している団体 (7 団体)

ボランティア連絡協議会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協会、母子寡婦福祉協会、更生保護女性の会、手をつなぐ親の会

(2) 子育て支援

就学前児童の子育てひろば（子育てサロン）を開催しているボランティアグループを対象として、スタッフの資質向上を図るための研修会等を開催しました。ひろばの活動は地区公民館を拠点に、月 1～2 回親子の交流機会を開催しました。

① 講演「こどもの体と心を育てる食とは」

- ・実施日 6 月 19 日（火） ・場 所 紫波町総合福祉センター
- ・講 師 岩手大学非常勤講師 吉田 智子氏
- ・参加者 19 名

② 勉強会

- ・実施日 10 月 24 日（水） ・場 所 紫波町役場
- ・参加者 3 名

第 5 ボランティアセンター事業

1 手話講座

ろうあ者相談員の講師により、手話講座を福祉センターで開設しました。

- ・実 施 日 毎月第 2、第 4 土曜日
- ・登録人数 18 名

2 お話し相手ボランティア

高齢者はつらつサロン「ふれ愛交流館」のボランティアとして活動しました。

- ・実施日 毎週火～金曜日
- ・場 所 総合福祉センター
- ・登録人数 1 名

3 配食ボランティア

65 歳以上一人暮らしや、概ね 75 歳以上の夫婦世帯におかずを届けながら見守りの安否確認も行いながら、年間 51 回昼食配食のボランティア活動を行いました。

- ・利用者 45 名
（日詰 13、古館 4、水分・志和 5、赤石 13、彦部 5、佐比内 5、赤沢 0、長岡 0）
- ・ボランティア登録人数 36 名

4 高齢者サロン「いこいの家」ボランティア

各地区の「いこいの家」運営に、ボランティアとして携わりました。

- ・お世話延べ人数 2,503 名
- ・開催回数 441 回
- ・利用者総数 6,725 名

5 ボランティア活動保険加入状況（合計 1,220名は前年比△1,101名）

区分	団体加入	個人加入	加入者計
基本タイプ	22団体 1,150名	1名	1,151名
天災タイプ	0団体 0名	3名	3名
行事保険タイプ	3団体 94名	0名	94名

6 フードバンクへの協力

町内で行われたイベントなどで食品回収ポストを設置し、これまでに10回ご協力いただいた食糧をフードバンク岩手（盛岡市）へ届けております。

7 東日本大震災等被災地支援

(1) 沿岸被災地活動への支援

町内団体が沿岸被災地でボランティア活動実施した際に、活動経費を支援しました。

- ・団体数 2団体（ボランティア1団体、赤石公民館）
- ・活動内容 沿岸被災地でのサロンを開催し被災者との交流を深めました。
- ・活動回数 延2回
- ・支援内容 バス借り上げ料

(2) 被災地への義援金支援

- ・大阪府北部地震災害義援金 6月25日～9月6日 ・支援金 54,431円
- ・北海道胆震東部地震災害義援金 9月10日～3月28日 ・支援金 125,235円
- ・台風7号梅雨前線災害義援金 7月11日～9月6日 ・義援金 54,481円

第6 共同募金配分事業

1 地域交流イベント「ふれあいフェスタ」

障がい者と健常者がお互いの立場を理解し交流を深めるために開催しました。

- ・実施日 9月29日（土）10:00～14:00
- ・場所 オガールプラザ内「紫波町情報交流館」
- ・内容 コンサート（出演 9団体 町内7団体、町外2団体）
体験・展示（参加 17団体 販売・軽食（出店 17団体）
- ・福祉団体 虹の保育園児、けやき学園・さくら会・平和台病院、手話講座等の遊戯やコーラスの発表を行いました。

2 ボランティア協力校の指定

町内小・中学校全校及び紫波総合高校をボランティア協力校に指定し、ボランティア活動の推進に努めました。

- ・活動助成金 40,000円×15校=600,000円
- ・活動内容 キャップハンディ体験、高齢者との交流、環境整備、施設訪問

3 各種団体助成

福祉関係団体への助成を実施しました。

- ・地区社協 9地区 920,000円

- ・子育て支援ボランティア 3団体 70,000円
- ・福祉団体 7団体 1,275,000円
- ・その他 3団体 220,000円

第7 紫波町受託事業

1 無料相談事業「ふれあい相談所」

住民の抱えている課題解決に援助、協力するため、無料相談所を開設しました。

- ・実施日 毎月第1水曜日、弁護士毎月第3水曜日
- ・場所 福祉センター団体室
- ・相談員 人権擁護委員7名、弁護士1名
- ・件数内訳

生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚
5	0	2	1	15	1
離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産
11	1	0	0	2	32
事故	児童・母子保健	教育・青少年	心身障害者	母子・父子福祉	高齢者福祉
0	0	1	0	0	5
苦情	日常生活自立支援	その他			合計
1	0	5			82

その他の相談内容 ①隣人からの嫌がらせ ②不当請求

2 移送サービス

車椅子利用者等で一般の交通機関の利用が困難である高齢者や障がい者（町認定者）を対象として、病院や福祉施設等へ移送する有償のサービスを実施しました。

- ・利用登録者数 59名
- ・利用延べ回数 541回
- ・運転手 3名
- ・専用車両 3台

3 高齢者サロン「いこいの家」助成事業

町内のひとり暮らし老人や老夫婦世帯の孤独感解消や健康保持を目的に、ボランティアが実施する高齢者サロン事業「いこいの家」に、補助金を交付しました。

- ・交付額 1回3,400円（財源内訳 町2.4千円、社協1千円）
- ・地区別開催状況

日誌	古館	水分	志和
15箇所 80回	6箇所 47回	7箇所 30回	15箇所 92回
赤石	彦部	佐比内	赤沢
16箇所 49回	7箇所 37回	9箇所 29回	8箇所 31回
長岡	合計		
10箇所 46回	93箇所 441回		

4 高齢者ふれあい交流会

65 歳以上の一人暮らし老人及び共に 75 歳以上の二人暮らし世帯を対象に、次の事業を実施しました。

(1) 日帰り温泉旅行

・実施月日	11月1日(木)	・場 所	ホテル志戸平
・参加者	159名参加	・運営協力者	民生児童委員11名
・事業費	989,066円	・利用者負担金等	406,000円

(2) 配食サービス

毎週金曜日に昼食弁当をボランティアが配布しました。

・利用者	46名(1月末現在)	・利用者負担	1食300円
・実施回数	51回	・配食総数	2,378食
・受託料	475,600円	・利用者負担	713,400円
・事業費	1,269,156円	・事業者支払	1,012,200円

5 障がい者スポーツ交流会

障がい者の体力増強、交流を目的にスポーツ交流会を実施しました。

・実施時期	12月1日(土)	・実施場所	マッハランド
・実施種目	ボウリング	・参加者	当事者とスタッフ50名

6 障害者外出介助事業(ガイドヘルパー派遣)

町認定の障がい者を対象として、ガイドヘルパーを派遣し、外出介助を実施しました。

※事業実績はP10 介護事業N04のとおり

7 基準緩和訪問型サービス(ホームヘルパー派遣)

介護保険要支援に準じた高齢者(町認定者)を対象にホームヘルパーを派遣しました。

※事業実績はP10 介護事業N05のとおり

8 元気はつらつサロン「ふれ愛交流館」

介護保険要支援者とそれに準じた高齢者(町認定者)を対象に実施しました。

※事業実績はP10 介護事業N06のとおり

9 虹の保育園

指定管理者として紫波町立虹の保育園を運営しました。

※事業実績はP13のとおり

10 地域子育て支援センター

紫波町立虹の保育園に併設している地域子育て支援センターを運営しました。

※事業実績はP22のとおり

第8 資金貸付事業

1 たすけあい金庫

緊急出費を要し、援護の必要がある方を対象として資金貸付を実施しました。

・利用限度額	50,000円	・当期利用状況	0件	0円
--------	---------	---------	----	----

2 生活福祉資金（県社協委託事業）

資金名		件数	貸付総額	貸付限度額
当期決定貸付総額		10 件	6,965,000 円	
内 訳	緊急小口資金	6 件	464,000 円	100,000 円
	福祉資金	1 件	1,280,000 円	対象経費による 50 万～580 万円
	総合支援資金	0 件	0 円	単身 15 万、2 人～20 万
	つなぎ資金	0 件	0 円	必要最小限
	教育支援資金	3 件	5,221,000 円	

※前年度 7 件 5,270,000 円

第9 介護事業

1 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

介護保険において要介護認定を受けた方の介護サービス計画（ケアプラン）の作成、見直し及び介護サービスに関わる連絡・調整等を実施しました。

- ・利用者数（3 月実績） 145 名 要支援 13 名含む。（前年度 151 名）
- ・介護支援専門員数 5 名（前年度 5 名）
- ・総収入額 26,009,090 円（前年度 25,056,360 円）
- ・特定事業所加算Ⅲ取得（条件 常勤職員 3 名、主任介護支援専門員 2 名）
平成 28 年 11 月取得 加算額 3,000 円／1 人 1 カ月

2 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

要介護認定者、要支援者とそれに準じた方（事業対象者）へ訪問介護サービスを提供しました。

現行相当サービスとは、これまで要支援 1～2 の方が利用していた主に生活援助サービスで、平成 29 年度からのサービスとなります。

・利用実績 (単位：人、回、時間、千円)

年度 区分		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
		契約者数	115	115	108	105	107
実利用者数	事業対象者	—	—	—	—	1	0
	要支援 1	7	7		6	1	1
	要支援 2	17	17	20	14	11	11
	要介護 1	31	31	29	29	24	24
	要介護 2	28	28	18	23	13	23
	要介護 3	18	18	20	18	17	11
	要介護 4	6	6	3	7	7	6

	要介護5	5	5	8	4	8	1
	計	112	112	103	101	82	77
派遣回数	身体介護	8,342	6,698	6,693	6,940	8,010	6,685
	生活援助	6,541	6,752	5,740	4,286	3,543	2,046
	身体・生活	2,001	2,390	1,959	1,997	2,361	2,698
	介護予防	389	266	308	346	123	0
	現行相当	—	—	—	—	420	649
	計	17,273	16,106	14,700	13,569	14,457	12,078
派遣時間	身体介護	5,243	4,044	4,130	4,444	5,250	4,770
	生活援助	3,281	6,590	5,705	4,184	3,603	2,048
	身体・生活	6,294	3,676	2,739	2,790	3,163	3,630
	介護予防	1,712	1,258	1,342	1,334	507	0
	現行相当	—	—	—	—	542	756
	計	16,530	15,568	13,916	12,752	13,065	11,204
収入額 (介護報酬)		54,322	51,275	45,860	44,050	48,068	41,390

3 障害者居宅介護事業（ヘルパー派遣）

障害者総合支援法における利用者へ居宅介護サービスを提供しました。

・利用実績 (単位：人、回、時間、千円)

年度 区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
派遣対象者数	21	14	16	18	22	18
派遣回数	2,937	2,693	2,278	2,271	2,640	2,549
派遣時間	2,824	2,287	1,985	2,271	2,110	1,984
自立支援費収入	9,131	7,879	6,034	7,538	7,266	6,471

4 障害者外出介助事業（ガイドヘルパー派遣）

町認定の障がい者を対象として、ガイドヘルパーを派遣し、外出介助を実施しました。

・利用者数 5名（前年度5名） ・派遣回数 155回（前年度162回）
 ・派遣時間 447時間（前年度490時間）

5 基準緩和訪問型サービス（ホームヘルパー派遣）

介護保険要支援に準じた高齢者（町認定者）を対象にホームヘルパーを派遣しました。

・利用実績 (単位：人、回、時間)

年度 区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
派遣対象	8	8	6	5	20	21

派遣回数	562	481	453	316	417	1,117
派遣時間	594	521	486	299	308	837

・受託金額 2,180,104円 派遣対象者は年度末の実績

6 元気はつらつサロン「ふれ愛交流館」

介護保険要支援者とそれに準じた高齢者（町認定者）を対象に実施しました。

- ・開設日数 198日（火曜日～金曜日）
- ・開設場所 福祉センター ・登録者数 39名（3月末現在）
- ・延べ利用者数 1,756名（前年度1,731名）
- ・実施内容 健康管理、趣味創作、給食、季節行事他
- ・備品購入 エアコンを設置

7 緩和型訪問介護者養成研修

紫波町訪問型サービスA（緩和型訪問介護）研修

- ・日時 6月4日（月）～5日（火） ・会場 紫波町総合福祉センター
- ・主催 紫波町、町社会福祉協議会 ・参加者 8名
- ・内容 コミュニケーション技術、事故防止・緊急対応、生活支援技術

第10 障がい者総合支援事業

1 障害者外出介助事業（ガイドヘルパー派遣）

※事業実績はP10 介護事業N04のとおり

2 就労継続支援事業所「けやき学園」

障害者総合支援法に基づく就労継続支援事業所として「けやき学園」を運営しました。

※事業実績はP25のとおり

3 就労継続支援事業所「さくら製作所」

障害者総合支援法に基づく就労継続支援事業所として「さくら製作所」を運営しました。 ※事業実績はP28のとおり

第11 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動の推進

1 赤い羽根共同募金

(1) 募金運動

・運動実施期間 10月～12月 ・募金実績額 6,229,265円

(2) 福祉支援事業助成（1件5万円限度）

・決定団体数 14団体 ・助成金額 569,000円

(3) 社会福祉協議会が行う事業へ助成

・事業数 5事業 ふれあいフェスタ、いこいの家、社協だより
ボランティア協力校、障害者団体等活動への助成

・助成金額 4,118,011円

2 歳末たすけあい運動

低所得世帯や母子・父子世帯や常時介護を要する方に、義援金を配分しました。

- ・運動実施期間 10月～12月
- ・募金実績額 5,067,586円
- ・配分額 4,328,000円
- ・配分内訳

区 分		世帯・人員	単 価	金 額
要保護世帯	高齢者・母子等世帯	333世帯	11,000円	3,663,000円
常時介護を要する個人	寝たきり・認知高齢者、 重度心身障害者	133人	5,000円	665,000円

第12 職員研修

1 紫波町社会福祉協議会職員研修

- (1) ・実施日時 8月 7日(火)午後6時から
- ・参加者 60名
- ・内 容 「メンタルヘルスと職場のコミュニケーション」について
- 講師 今松メンタルヘルスケア事務所 今松 明子 氏
- (2) ・実施日時 12月18日(火)午後1時30分から
- ・参加者 23名
- ・内 容 「認知症サポーター養成講座」
- 講 師 グループホーム ゆいっこ管理者 作山 幸雄 氏
- 「オレンジリングについて」
- 講 師 認知症地域支援推進員 北田 昭子 氏
- (3) ・実施日時 3月18日(月)午後6時30分から
- ・参加者 85名
- ・内 容 紫波町地域福祉活動計画の進行状況について
- 公私連携型 虹の保育園について
- 資格取得助成等について
- ・講 師 社協職員

平成 30 年度

虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園

虹の保育園 事業報告書

虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園虹の保育園

1 保育業務実施状況

子ども・子育て支援新制度においては、保護者が保育所、幼稚園、認定こども園等を利用する場合、子ども一人ひとりが、その保育希望理由や保育希望必要量により、市町村からの「支給認定」を受けます。支給認定は1号から3号まであり、認定の違いにより、利用する施設や時間数も異なります。当園は「保育所」であるため、2号、3号認定の児童についての保育を実施しました。

(1) 開設日・時間

- ・ 開設日 月曜日～土曜日（日曜日、祝祭日、年末年始除く）291日
- ・ 開設時間 午前7時～午後6時（延長保育午後6時～7時）

(2) 入所児童数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
定員	12	18	18	20	26	26	120
4月	6	16	22	23	30	21	118
10月	9	18	23	24	29	21	124
3月	13	18	23	24	29	21	128

(3) 保育内容

平成29年3月に全部改正、告示された保育所保育指針により、園の理念、保育方針を踏まえた保育全体計画、保育年間計画を作成し、個々の発達を大切にした保育を実践しました。

また、園周辺の自然環境を活かした活動を積極的に実践し、園独自の取り組みを進め、地域に開かれた保育施設として異世代間の交流に努めました。

① “遊ぶ力” の獲得を目指す取り組みを実施

園周辺の豊かな自然を取り入れながら、定期的に自然観察についての講師を招き、戸外での昆虫採集や飼育を行いました。また、年齢、月齢に配慮しながらも積極的に四季折々の遊びを十分にできる機会を持ちました。

② 人として生きる力の基礎を培う取り組みを実施。

子どもそれぞれの個別保育計画を立案し、個性や発達を捉え、個々にあった働きかけをしました。また、保護者とは、毎日の連絡ノートや送迎時の会話の中で日々の様子を伝え合い、家庭や園での子どもの様子を互いに把握をし、子どもの生活リズムを整えるよう試みました。新規入所児童及び乳児については、個別面談を実施し、保護者とのコミュニケーションをとるよう努めました。

③ 集団の中で個々が育ち合う取り組みを実施。

異年齢、家庭環境の違い、個々の特質、成長に合わせながら、ともに生活をしたり、遊んだりする中で、子どもたちが様々な体験をし、互いの存在を自然に理解するよう働きかけました。

また、子どものより良い育ちを促していくために、家庭環境について保護者と対話を持っていくようにしました。

④絵本による豊かな心情作りを実施

好きな本を存分に読むことができるように、図書のコナーを毎日、終日開放。送迎時に親子でゆっくりと絵本に親しむ環境を提供した。夕方の送迎時に設置したベンチで絵本を一緒に読む親子が毎日見られるようになりました。

⑤畑での野菜の栽培を実施

幼児部を中心として、子どもたち自身で苗や種から野菜の栽培をし、成長の過程を観察し収穫もしました。また、給食担当者とともに収穫野菜を利用し、年長児、年中児を中心に調理体験を行いました。

乳児については、野菜の苗を老人クラブの方に植えていただき、収穫の楽しさを体験しました。

年長児については、地域の方に教えられながら、味噌作りについて栽培から収穫、加工まで、一年を通して取り組みました。また近隣農園の協力により田植えから稲刈りまでを体験し、新米を使った炊飯体験をしました。

⑥英語体験の実施（毎月2回）

4, 5歳児を対象に外国人講師による英語に触れる機会を設け、ことばに対する興味や面白さを伝えました。

2 特別保育実施状況

(1) 延長保育

月曜日から土曜日まで開設時間を延長し、保育を実施。

- ・時 間 午後6時～7時
- ・利用者 利用登録延べ人数 28名（平成31年3月末日）
利用延べ人数 2,753名（平成30年3月～31年3月）

(2) 一時保育

児童を対象に、時間単位での預かり保育を実施。（紫波町内在住満1歳以上児童対象）

年 度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用人数	607	1009	648	256	423	374	166	149

(3) 休日保育

日曜日、祝祭日に保育を実施（紫波町内在住の2号、3号保育認定満1歳以上児対象）

年 度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用人数	145	126	71	42	117	127	200	168

3 防災訓練・交通安全教室等実施状況

災害発生時に備え、職員、在園児、子育て支援センター利用者、一時保育利用児全て対象に毎月様々な想定での訓練をし、災害時への対応について啓発活動を行いました。

- | | | | |
|----------|-----|-----------------|---------|
| ①避難訓練 | 12回 | 〔火災想定 6回 | 地震 2回 |
| | | 地震～火災想定 2回 | 水害想定 2回 |
| ②初期消火訓練 | 2回 | ③通報訓練（消防署員立ち合い） | 2回 |
| ④交通安全教室 | 3回 | ⑤不審者対策訓練 | 1回 |
| ⑥土曜日避難訓練 | 1回 | | |

*訓練終了後、職員全員による個別の反省を提出、安全委員会による全体総括を毎回実施し、月次の職員会議において報告しました。

*土曜日避難訓練については、土曜日担当班は3班あるため3回の実施予定でした。30年度においては3回実施予定中1回にとどまった為、次年度に向けての課題とします。

4 給食実施状況

(1) 給食実施結果

厚生労働省が示している食事摂取基準に基づいて乳幼児にとって適切な給与栄養量を確保できるよう、子どもの発育、発達状況や家庭環境、栄養状態を考慮しながら年間の食育計画を立案しました。また、0歳児については入所の月齢を基準とし、家庭と連絡をとりながら、個々の成長に合わせた離乳を進めました。

また、給食についての嗜好調査を行い、日々の献立や調理法の参考としました。

(2) 家庭への食育啓発

①献立表の配布

毎月0～2歳児及び3～5歳児の献立表を入所児の家庭に配布しました。

また、毎月、食事だよりを発行し、季節に合わせた食材や行事食についての提案を行いました。

②給食サンプルの展示

乳児用、幼児用の給食サンプルを玄関ホールに展示し、保育園への送迎時に保護者が実際に見ることにより、子どもの食事について認識を深められるようにしました。

③誕生会昼食会

誕生会の昼食は完全給食（主食、副食）を実施し、3歳から5歳児までの園児がともに食事をした。また、誕生月の年長児の保護者は希望により会食に参加していただきました。

④弁当昼食会

保護者の協力のもと、月に1回弁当持参の日を設定し、戸外での昼食に出かけ、子どもたちが家庭の味の良さを実感する機会を作りました。また、弁当を喜んで食べる子どもの姿を伝えることにより、保護者に手作りの良さを実感する機会を設けました。

⑤食事マナーの習得

集団で食事をする中で、どのようにしたら、互いが快く食事ができるかを子どもたちとともに考え、個々の成長、年齢によって食事のマナーを伝えました。

⑥地産地消の推進

産直の野菜など地場産物を積極的に取り入れた昼食を子どもたちに提供しました。また、県産小麦を使用したパン、郷土のおやつなど、完全手づくりによる提供に努

めました。

⑦調理の取り組み

給食担当者の指導により、年長児を中心に年齢を考慮した簡単な調理を体験しました。

5 衛生状況

(1) 給食安全管理

給食安全管理に基づき安全な調理を実施しました。

(2) 職員細菌検査

- | | |
|---------------------|------------|
| ・全職員 | 年1回(4月に実施) |
| ・調理及び、乳児担当者、調乳担当職員、 | 毎月1回実施 |
| ・調理担当職員ノロウィルス検査 | 11~3月実施 |
| ・検査結果 | 異常なし |

(3) アレルギー除去食の提供

乳製品、卵、木の実、魚介類等食品についてアレルギー症状を示す乳幼児についてクラス担任と栄養士、調理師が連携を取りながら、医師による診断書に基づき保護者と相談の上、個別に献立を作成し、除去食を提供しました。

(4) 食材の放射能濃度の測定

安心、安全な給食を児童に提供するため、毎月1回食材の放射能濃度を測定し、結果についての周知を図りました。

6 児童の健康診断実施状況

児童の内科健診を年に2回(5、10月)…0歳児~5歳児対象

歯科健診を2回(6月、11月)…0歳児~5歳児対象

29年度に導入した標準的感染対策法(おむつ替え、嘔吐物処理方法)について、その方法を再検討し、職員間での定着に務めました。

7 保護者との連携

(1) 父母の会

- ・役員会…保護者と保育園、保護者同士の連携を深め、バザーをはじめ、各行事堂にご協力をいただきました。(年5回)
- ・園内環境整備…園舎内清掃や園舎床ワックスがけ、草取り、草刈にご協力をいただきました。(年2回)
- ・虹の保育園民営化説明会…平成31年度より、公私連携型保育所として、完全民営となる状況について説明会を開き、紫波町役場担当課よりいただきました。(9月7日、28日)

(2) 保護者

送迎時に保育実践の場面での出来事を通して、保護者と対話を持ち、個人連絡帳を活用しながら、より細やかなコミュニケーションを図りました。

また、保育参観日やクラス懇談会を開催し、保育内容の公開、育児相談、意見交

換などを実施することにより、保育士と保護者、保護者同士の交流の場を作りました。

8 地域交流

(1) 異世代間交流

- ①支援センター高齢者ボランティアグループ「そよかぜクラブ」との交流
 - ・畑作り、栽培、収穫を楽しみました。
 - ・みずき団子づくりを2歳児、3歳児と行いました。
 - ・ひな饅頭作りを3, 4, 5歳児と行いました。
- ②日々の保育場面での小中学生とのふれあい交流を実施しました。
- ③志和地区の高齢者クラブの協力により、地区の高齢者を園にお招きして、園児と遊びの時間を通して交流を図りました。(年5回)
- ④前年度卒園児の同窓会を開き、卒園前に仕込んだ味噌を使って、お握りを作り、皆で味わいました。
- ⑤平成24年度卒園児を招き、タイムカプセルを開封しました。

(2) 関係団体との交流

- ①地域行事「夏祭り」への参加
- ②敬老会、紫波町産業まつりへの出演、金婚を祝う会へはビデオレターにより出演。
- ③近隣老人介護施設入所者との交流（七夕、クリスマス、ハロウィン）
- ④地区公民館での小正月行事（みずき団子作り）
- ⑤花卉生産者によるフラワーアレンジメント体験講座（年長児）
- ⑥岩手県畳工業組合による“畳表替え実演”の見学をし、乳児室の畳の表替えをしていただきました。
- ⑦大学生（仏教大）による人形劇観劇。(8月9日)
- ⑧山添真寛氏（京都府在住）による一人人形劇観劇。(11月19日)

(3) 普及、啓発活動

- ①夏祭り、運動会、発表会等の諸行事の案内、ポスター掲示
- ②保育園便りを社協広報へ掲載
- ③地元祭りでのさんさ太鼓演奏
- ④保育の様子、行事等園便りとして保護者に配布
- ⑤社協ホームページに園行事等について掲載
- ⑥健康及び感染症に関する保健だよりの発行
- ⑦給食便り、献立表の発行

9 卒園児就学予定小学校との連携

保育所児童保育要録…平成30年度年長児担任が各校へ出向き、申し送りを実施。

平成29年全部改正、平成30年4月施行の保育所指針に則り、「幼児期までに育ってほしい姿」を主軸とした個々の児童についての保育所児童保育要録を作成し、平成30年度末に各小学校へ送付。

10 職員資質向上のための研修

(1) 園外各種研修会への参加各種研修会への参加

- ・ 新任保育士就業継続支援研修会（6月5日、紫波町情報交流館）
- ・ 紫波町子育て支援施設研修会（7月10日紫波町情報交流館）
- ・ 給食従事者研修（7月20日盛岡地区合同庁舎）
- ・ 岩手県保育研究大会（6月6日花巻温泉）
- ・ こどもの発達支援講座（10月21日盛岡大学短期大学部）
- ・ 紫波ブロック保育協議会調理担当者研修（10月4日紫波フルーツパーク）
- ・ 紫波ブロック保育協議会副園長、主査、主任研修（10月11日こどもケアセンター）
- ・ 紫波ブロック保育協議会栄養士研修（10月23日矢巾町公民館）
- ・ 実習指導者講習会（10月24～26日 東京大崎ブライトコア 3階ホール）
- ・ 防火管理者講習（3月7,8日盛岡市建設会館）
- ・ 岩手県保育士キャリアアップ研修受講（前期、後期10名、各1科目受講）
 - 前期日程 幼児教育（8月17、18、19日岩手県立大学）1名
 - 障がい児保育（8月27、28日岩手県立大学）1名
 - マネジメント（9月7、8、9日岩手県立大学）2名
 - 後期日程 幼児教育（3月23、24日江刺総合コミュニティーセンター）1名
 - 保健衛生・安全対策（1月5、6、16日奥州市文化会館）2名
 - マネジメント（2月1、2、3日水沢グランドホテル）1名
 - 障がい児保育（3月9、10日ベリーノホテル一関）2名

(2) 園内研修の実施

- ①研修伝講（保育園職員としての自覚と保育現場のこれからの課題）
 - 自己評価（1回目）6月29日（金）
- ②自己評価（2回目）8月31日（金）
- ③研修伝講（保育士キャリアアップ研修…幼児教育）
 - （岩手県保育研究大会）11月16日（金）
- ④研修伝講（保育士キャリアアップ研修…障がい児保育）
 - 陶芸講座（リフレッシュ研修）2月15日（金）

11 諸会議の開催及び参加

(1) 職員会議

- ①職員全体会議、組リーダー会議を毎月1回実施。
- ②給食担当者会議、乳児部、幼児部リーダー会議を必要に応じ実施。
- ③乳幼児部連絡会議を毎週1回実施。

(2) 関係機関の会議への参加

- ・ 紫波町こども課定例会議
- ・ 虹の保育園民営化協議
- ・ 紫波町幼児教育連絡会

12 視察、実習生の受け入れ

(1) 視察	2 団体	30 名
(2) 保育士養成学校生保育実習	2 校	2 名
(3) 小中学校生徒保育体験	4 校	148 名
(4) 学生ボランティア	2 校	4 名
(5) 社会福祉士養成課程学生	1 校	1 名

13 苦情・相談の受付

(1) 苦情…1 件

児童	日・時刻	内 容	園の対応
2 歳児 女児	3 月 25 日 (月)	同じクラスの子（特定の子どもの氏名 3 名）からたたかれた、押されたといってくるはじめは聞き流していたが、毎日のように話をし、服が汚いと言われたといってきたので心配になってきている。 保育園でも、子どもたちの様子を見てほしい。	ノートを書いた母親と直接話をした。（担任、園長） 心配をかけていることに謝罪をする。同時に、保育園での様子を話し、心配と思われる状況は、現在見られないが、今後とも気を付けて見守っていくと伝えた。

14 事故・ヒヤリハット

(1) 事故…11 件

児 童	日・時刻	内 容	園の対応
4 歳児 男児	6 月 9 日 (土) 10:30	園庭砂場の水道付近で他児と追いかけあいをしていたところ、転倒。 水道コンクリートで右額部を打撲。	土曜日のため保護者へ連絡し受診を願った。
2 歳児 男児	6 月 15 日 (金) 10:40	戸外遊び後、室内で歌遊びをしていた時、急に泣き始めた。視診したが外傷等無し、30 分後当該児右目に充血を認める。	保護者に連絡謝罪し受診を願った。
5 歳児 男児	6 月 29 日 (金) 17:45	夕方の異年齢保育の時間において、5 歳児男児が誤って火災報知機に触れ、非常用ベル、消火用ポンプ、火災通報装置を起動させてしまう。	当時現場にいた遅番職員により、事態への対応を行った。
5 歳児 男児	7 月 2 日 (月) 13:25	午睡に入る時間、それまで遊んでいた玩具（ミニレゴブロック）のパーツの 1 つを持ったまま就寝したところ、誤って鼻の中にブロックが入ってしまい、鼻から出血。	園での対処は危険と判断、保護者へ連絡し、受診をお願いした。
4 歳児 男児	7 月 23 日 (月)	午後の異年齢保育時間、滑り台で他児（5 歳児男児）に押され転倒、口を打撲。前歯がぐ	保護者へ連絡、受診を願った。

	17:15	らつき出血。	
4歳児 男児	9月21日 (金) 10:30	雲梯で遊んでいたところ、落下、左ひじを打撲。落下した時の状況、本児が肘内障の既往があることから、受診が必要と判断。	保護者に連絡、謝罪し、受診を願った。保護者の許可を得て、本児を専門医で受診。
3歳児 男児	9月28日 (金) 10:20	午前の活動中、園庭で遊んでいた3歳児男児が石を投げ、そこをとおりかかった他児(3歳児男児)の額にあたってしまった。	本児の傷等状況を確認。 事故の様子について、送迎時保護者へ連絡。
4歳児 男児	10月25日 (木) 10:50	午前の活動中、他児と「警察ごっこ」をして遊んでいたとき、手を急に引っ張られ、倒れ動かなくなる。	状況から専門医への受診が必要と判断。保護者に連絡の上、看護師、園長が引率し受診。
0歳児 女児	11月27日 (火) 16:45	乳児用室内移動車にのって園舎内を移動していた時、移動車のブレーキハンドルをかじりネジに歯がはさまってしまう。	保護者へ状況を説明し、翌日に受診
3歳児 女児	1月22日 (火) 9:15	朝の集会の時間、児童が遊戯室で、並んで体操をしていた時、他児(3歳児)の頭に本児の前歯がぶつかり、根元から出血。	保護者に連絡の上、看護師保育士が引率し受診。
3歳児 女児	2月8日 (金) 9:15	朝の集会前の時間、玩具を片付け始めたところ、その周りで本児を含む児童数名が走り始める。一緒に走っていた他児とぶつかり転倒。その際に床で上前歯を打撲。	保護者へ連絡受診を願う。

(2) ヒヤリハット…8件

児童(場所)	日・時刻	内容	今後の対策
調理室	4月2日 (月) 16:50	退勤の際に、回転窯のガスの元栓は締めていたが、点火スイッチを切り忘れてしまった。	スイッチを切る手順を定着する。ガスの元栓を閉めた時に周囲に声をかける。退勤時に再度確認する。
0歳児 女児	5月23日 (水) 11:45	給食後に0歳児女児が嘔吐しそうになったので、嘔吐用ボールを近づけたところ、大泣きして口の中が見えた、その際に口の中に小さなビニールテープを確認。	日中に遊んだ段ボールについていたビニールテープだったと推察される。今後、絵本等を含め、子どもが口に入れることを念頭に置いた環境設定を徹底すると確認。
0歳児 男児 女児	6月2日 (土) 9:30	土曜日保育中、満1歳に達していない子ども2名に誤って牛乳を与えてしまった。 (当園においては、1歳未満の乳児については、保護者との相談を経て、1歳を迎えてから与えることにしている)	土曜日保育は、現担任が勤務していない場合も考えられるため、前もって土曜日担当者職員が当日の利用児童の状況について確認を行う。

0歳児 男児	8月21日 (火) 15:40	午後の間食を終え、隣室に一人ずつ移動していた時、1歳未満の子どもが隣の満1歳を迎えた子どものおやつを食べていた。 (園では、アレルギー、離乳の進み具合などを考慮し、満1歳と1歳児未満では、おやつの内容が異なる)	日々、発達する子どもの状況に合わせ、座席の配置や、配膳を工夫し、誤食が発生しないよう注意喚起を行った。
2歳児 男児	9月25日 (火) 8:30	午前のおやつ、ピーナッツアレルギーの子どものトレーに、製造ラインにピーナッツの表記のあるものを誤ってのせ、提供。	2歳児職員が気づき、給食室に申し出、取り変えた。
2歳児 男児	10月9日 (火) 10:15	午前中、川の土手をクラスで散歩していた時のこと、土手で男児Aが四つん這いになり泣いていた。他児(男児B)に押されたと訴えた。また他児に対しても同じように押している様子が見て取れた。	今回は、発見が早かったために、事故を未然に防ぐことができたが、個々のこどもの心理、家庭環境等も考慮しながら、声をかけていく。
1歳児 女児	10月23日 (火) 10:45	午前中、園庭の遊具で遊んだ後、保育室に戻ってきたところ、口の中に小石をくわえてモグモグしている子どもを発見し、すぐに口から吐き出させた。	どの子どもであっても異物を口に入れてしまう危険性はあることを再認識し、遊んでいる様子を常に注意深く観察していく。
調理室	3月8日 (金) 17:00頃	調理室の外部の扉が施錠しないまま、翌朝に特早番の職員が発見。	今後は、施錠したら人物が声をかけ、退勤の時に、再度確認をする。

地域子育て支援センター事業報告書

1. 子育て親子の交流の提供と交流の促進

就学前の在宅の親子を対象に、子育て不安の解消や保護者同士の交流の場を提供しました。

(1) 赤ちゃん広場

- ・実施日 毎週火曜日 9:00～12:00
- ・対象 1歳未満の乳児と保護者
- ・延参加者数 子ども 114名、母 103名、祖母 2名、父 1名 その他 1名
- ・内容 親子でゆっくりと過ごすことを中心とし、母親同士の交流の場を図りました。

保育士による手あそび、親子のスキンシップ、触れ合い遊び、絵本や紙芝居の読み聞かせを実施しました。

(2) びよびよ・わくわく広場

- ・実施日 毎月木曜日 9:00～12:00
- ・対象 1歳から2歳までの就園前の乳児と保護者
- ・延参加者数 子ども 69名、母 57名、祖母 1名、その他 1名
- ・内容 親子でゆっくりと過ごしながらい子ども同士でのあそびを楽しむとともに親同士の交流を図りました。

保育士による手あそびや歌あそび、乳幼児向けの体操や絵本や紙芝居の読み聞かせや、簡単な製作活動の実施しました。

(3) キッズガーデン

- ・実施日 毎月第4月曜日 10:00～12:00
- ・対象 0歳から就園前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども 8名、母 8名
- ・内容 保育士とともに親子で保育園園庭で遊びました。

(4) すくすく広場

- ・実施日 主に毎月第1, 3水曜日 9:30～11:00
- ・対象 0歳から就園前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども 1名、母 1名
- ・内容 紫波町内の保育施設の開放し、親子で施設の遊具などを利用しながら、ゆっくりと過ごしました。

(5) 親子の広場

- ・実施日 毎週月曜～金曜日 12:00～17:00 毎週土曜日 9:00～15:00
- ・対象 0歳から就学前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども 82名、母 90名、小学生 18名
- ・内容 親子でゆっくりとあそぶことができ、時間内であれば自由に立ち寄る場所として子育て支援センター室を開放しました。

2. 子育て等に関する相談・援助の実施

- ・実施日 毎週月～金曜日 9:00～17:00 毎週土曜日 9:00～15:00
 - ・対象 子育て中の親またはその関係者
 - ・内容 子育て家庭の家族の来園または電話による相談を保育士、看護師、栄養士が受け、重点的な支援が必要と判断された親子（家庭）については、町内支援センター、保健師、役場担当課との連携と協働をはかりながら対応しました。
- ・相談実績

相談内容	件数
基本的な生活習慣	27
発達・発育	0
しつけ育児	4
医学的問題	0
行政・保育所・幼稚園	2
一時預かり	4
その他	2
合計	39

3. 地域の子育て関連情報の提供

子育て中の親子が必要とする身近な地域の子育てについての様々な情報を提供しました。

- ・しわ寄せ、子育て支援ひろば、また保健センター同士で情報の交換・連絡・共有をし、広場開設時に利用者に提供しました。
- ・研修・経験などで得られた専門知識を広場開設時に提供しました。
- ・センター通信を発行し（センター予定表・子育て情報・食育情報を各1回/月）、地域の方に
もセンターの情報を知っていただくために、各所に配布をしました。
（志和公民館、水分公民館、上平沢郵便局、社会福祉協議会等）

4. 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ・広場開設時における親子体操、絵本の読み聞かせ、製作等を行いました。各8回/月程度
- ・給食試食会の実施 1回/隔月 延べ参加人数 子ども 9名、大人 9名
- ・離乳食ミニ講座 1回/月 延べ参加人数 乳児 15名、大人 15名
- ・自然観察の会の実施 1回/年 延べ参加人数 子ども 0名、大人 0名
- ・子ども音楽教室 1回/年 延べ参加人数 子ども 11名、大人 10名
- ・親子でおやつタイム 1回/隔月 延べ参加人数 子ども 4名、大人 4名

5. 地域支援活動の実施

(1) 子育て支援ひろば

①ボランティアグループ（にこにこひろば合同）

- ・実施日 8回/年 延べ参加人数 子ども 108名、大人 126名

- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 にこにこひろばへ出向き、親子に遊び方を提供し、託児を行いました。

②レッツゴー広場（しわっせと合同）

- ・実施日 3回／年 延べ参加人数 子ども 46名、大人 40名
- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 彦部公民館、紫波中央公民館へ出向き、親子に遊び方を提供しました。

③なつまつり（しわっせと合同）

- ・実施日 1回／年 延べ参加人数 子ども 78名、大人 91名
- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 サンビレッジでお店屋さんごっこを提供しました。

④運動会（しわっせと合同）

- ・実施日 1回／年 延べ参加人数 子ども 71名、大人 68名
- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 サンビレッジで運動あそびを提供しました。

6. 世代間交流

(1) 高齢者ボランティア講座【そよかぜクラブ】の開催

支援センターを拠点とし、地域の高齢者と広場参加者、在園児との交流を実施しました。

- ・実施日 毎週金曜日 9：00～12：00
製作や行事、畑手入れ等により、実施日を増やし活動しました。
- ・対象者 保育園近隣在住の高齢者
- ・内容 園や支援センターの畑づくり、乳児用エプロン作り、発表会プレゼントづくり、運動会のメダル作り、卒園児へのコサージュづくり、在園児との行事参加や交流（みずき団子、節分、ひなまつり）を行いました。
手作り人形劇公演 4回（園内行事、しわっせ）
- ・登録者数 9名（延べ参加人数 284名）

(2) 卒園児との交流（ホームカミングデー）

卒園後の子どもたちの見守りの試みとして計画をたて、実施しました。

- ・実施日 1月8日（火） 15：00～17：00
- ・内容 みそおにぎり作り、在園児との交流
- ・参加者数 小学生18名、大人15名

7. 特別支援活動の実施（たんぽぽルーム）

特別な支援が必要な子どもを含め、すべての子またはその保護者が集う場を提供しました。

- ・実施日 9／年 延べ参加人数 子ども55名 保護者53名
- ・対象者 町内外の乳幼児から中学生とその保護者
- ・活動内容 大学生のボランティアの協力を得て、子どもたちがタグラグビー、クリスマス会、お楽しみ会を行う間、保護者の座談会を行いました。

平成 30 年度

けやき学園 事業報告書

障がい福祉サービス事業所けやき学園は、障がいのある方への生産活動の提供と生活介護事業を展開し、作業訓練や自治会活動、諸行事を通して、個々の能力を引き出すことを目標に、お一人おひとりの適性・特性に応じて次のような事業を実施しました。

1 事業所運営に関すること

(1) 利用登録者数について

- ・利用定員 50名（就労継続支援B型事業44名、生活介護事業6名）
- ・当期末登録者数 43名（B型36名、生活介護7名。男性23名、女性20名）
（紫波町35名、矢巾町3名、花巻市5名）
- ・平均年齢 39.4歳（男性36.6歳、女性42.7歳）

(2) 開所日数

- ・年間開所日数 240日（前年度より2日減）
- ・月平均開所日数 20日

(3) 利用者数

- ・年間延べ利用者数 8,995名（前年度より594名減）
- ・1日の平均利用者数 37.4名（前年度より2.2名減）

(4) 職員体制について

- ・常勤職員 14名
- ・パート職員 1名

(5) 事業稼動について

- ・生産活動の機会を提供する就労継続事業、訓練作業や情操活動等を取り入れた生活介護事業において、利用者個々の適性と特性に合わせた支援に努めました。
- ・相談支援事業においては、関係機関と調整を図りながら事業実施しました。
- ・長期入院された方もあり、健康支援をより重視すること、ご家族との連携をより強めていくことの必要性は年々高まっている。

(6) 運営費収入について

- ・自立支援給付費収入 71,042,290円（前年度より747,930円増）

2 利用者支援に関すること

(1) 個別支援計画の作成および記録の整備について

- ・利用者本人の意向を尊重し、作業及び基本的な生活を保つために、支援計画書を前後期の計2回作成し、支援方策の反映に努めました。
- ・利用者個々の日常に関する記録（ケース記録）の整備に努めました。

(2) 生産活動について

①生産活動の成果について

- ・個々の能力に応じた適正作業に結びつけられるよう支援に努めました。
- ・複数の作業種に関われるよう、利用者本人の意向に沿いながら、所属作業科以外での作業体験ができるよう適宜調整を図りました。

印刷科	3,330,671 円	手拭、タオル、Tシャツ、ジャンパー等の印刷 (前年度より 408,841 円増)
障子襖科	3,074,750 円	障子ふすま及び網戸の張り替え (前年度より 686,700 円増)
園芸科	1,128,020 円	花苗と寄せ植え販売、花壇用花苗の注文販売、産直出荷 (前年度より 52,681 円減)
受託科	1,613,201 円	調味料容器のキャップ締め、菓子袋のシール貼り、部品組立、キャップリサイクル、書類の押印ナンバリング他 (前年度より 183,705 円増) 参考) キャップ回収量 3,257 kg (前年度 2,238 kg)
計	9,146,642 円	(前年度より 1,226,535 円増)

②利用者への工賃支給について

- ・年間工賃支給総額 4,064,600 円 (前年度より 93,480 円減)
- ・一人当たり月平均支給額 8,683 円 (前年度より 312 円増)

③売り上げ向上への対策について

- ・町内産直施設やイベント等へ出荷出品するなど、販路の拡大に努めました。
- ・公共施設に受注宣伝のチラシを常置する等の対策を講じました。

(3) 生活介護事業について

- ・健康維持を目的としたウォーキングと運動施設等での活動が定着し、より意欲的な活動ができるよう月予定と週予定を提示しながら、家庭連絡及び職員間で連携を図りながら実施しました。

(4) 給食提供と健康支援について

- ・定期的に体重測定と嗜好調査を行い、健康支援と昼食メニューに反映させました。
- ・国内産及び地元産の食材使用を基本に、きざみ食やおかゆ食等、利用者の体調と病状に合わせた食事提供を行いました。また、保護者宅や地域の方々より、地元産米や野菜、果物などを提供いただき、給食で大切に使用させていただきました。
- ・利用者希望メニュー55回、郷土料理 43回を提供しました。
- ・嘱託医による健康診断とインフルエンザ予防の集団接種を実施しました。
- ・ご家庭での通院対応が困難な利用者への通院付添の対応を行い、病状把握に努めながら必要とされる支援に生かしました。

(5) 行事、クラブ活動等について

①行事等

- ・行事内容が利用者の負担とならないよう、また行事の実施日前後における作業量の調整を図りながら計画立案を進めました。

②クラブ活動

利用者の情操と健康維持を目的に、下記の活動メニューから選択していただき、外部講師の協力を得ながら各活動を月 1 回実施しました。

- ・音楽クラブ 希望者 29 名（6 月から「ふれあいフェスタ」まで月 2 回実施）
- ・3 B クラブ 希望者 23 名
- ・水中運動クラブ 希望者 17 名
- ・軽運動クラブ 希望者 26 名

③その他

- ・インターネット閲覧の日を週 2 回設定しました。

(6) 本人活動・自治会活動への支援について

- ・日常生活での改善点などを自治会の会議や係活動を通して助言に努めました。
- ・行事企画においては利用者の意向を可能な限り取り入れるよう努めました。

(7) 施設外体験について

- ・にいやま荘グループホームでの喫茶催しにおいて、職場体験を希望している利用者を対象とした体験実習を 3 回、5 名の参加で実施しました。また、公民館まつりにおける販売機会に恵まれ、価値ある販売体験となりました。

3 その他の事業・活動について

(1) 交流会、関係団体行事への参加

- ・各種団体との交流会を実施し、各種スポーツ大会へも積極的に参加しました。

(2) 苦情解決及び相談業務について

- ・利用者からの不安や悩みについて職員間で共有し合い対応に努めました。
- ・保護者からの要望も含めて、迅速な対処対応および改善に努めました。
- ・利用者とそのご家族、発注者や業者との間でのトラブル防止のため、検証を重ねる機会を設けました。改善と点検の視点を常時持つ意識がより高まりました。

(3) 会議の開催について

- ・月単位と週単位での会議及びミーティングにおいて、利用者対応や行事等の円滑実施、事故防止対策を図る等の協議を深めました。

(4) 職員の資質向上のための資格取得を目指した研修受講と外部研修への参加について

- ・専門職資格の取得を目指す職員には、負担軽減となるよう配慮に努めました。
- ・研修への参加が職員体制やその日の状況により叶わないことがあり、今後は計画的な研修参加を進める必要がある。

(5) 防災訓練の実施について

- ・消防署員立会いのもとに避難訓練を 2 回実施し、都度に講話をいただきました。防火意識を高めることと避難行動のポイントを学ぶ機会となりました。

(6) 実習と見学者の受け入れについて

- | | |
|---------------------|-------------|
| ①支援学校からの実習生受け入れ | 5 名（4 校） |
| ②学校機関からの体験・実習の受け入れ | 6 名（3 機関） |
| ③支援学校や団体等の視察見学の受け入れ | 69 名（12 団体） |

平成 30 年度

さくら製作所 事業報告書

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会・生産活動その他活動の機会を提供し、知識及び能力の向上に必要な訓練等を適切かつ効果的に行うことを目的に、各種事業を実施した。

1 事業所運営に関すること

- | | |
|---|---|
| (1) 利用登録者数について | 定員 20 名 |
| ①当期末 登録者数 | 18 名 (男性 4 名、女性 14 名)
(紫波町 16 名、矢巾町 2 名) |
| ・平均年齢 | 45.5 歳 (前年度より、0.8 歳増) |
| ②年間の移動状況 (新規利用者 2 名・就労及び他施設者数 0 名・退所者数 3 名) | |
| (2) 事業所開設日数 | |
| ①年間延べ開所日数 | 244 日 (前年度と同じ) |
| ②月平均開所日数 | 20.3 日 (前年度と同じ) |
| (3) 利用者数 | |
| ①年間延べ利用者数 | 3,384 名 (前年度より、108 名増) |
| ②1 日の平均利用者数 | 13.9 名 (前年度より、0.5 名増) |
| (4) 職員体制 | |
| ①常勤職員 | 4 名 |
| ②パート職員 | 3 名 |
| (5) 運営管理について | |
| ①関連機関との連絡調整会議等参加
(支援会議等) | 43 回 |
| ②県内外研修会参加 | 7 回 |
| ③避難・防火訓練実施 | 2 回 |
| (6) 運営費収入について | |
| ①障害福祉サービス等事業収入額 | 29,897,700 円 (前年度より、3,527,900 円増) |

2 利用者支援に関すること

- (1) 個別支援計画 (日常生活・就労支援他) の作成
定期面談を実施し、個人ごとに本人の意向を重視した支援計画を作成した。
- (2) 一般就労の推進
就労希望者に対して、ハローワークや就労支援に関わる関係機関と連携し、就労に向けた支援を実施した。
- | | |
|------------------|-----|
| ①平成 30 年度の一般就労者数 | 0 名 |
|------------------|-----|

(3) 嘱託医による健康診断の実施

①実施回数 2回

・インフルエンザの予防接種（年1回）を集団で実施している。

(4) 余暇活動（食事会・軽体操・創作活動他）

外部講師等の協力を得ながら趣味創作活動を定期的に実施した。

① 実施回数 42回

3 生産活動の状況

(1) 生産活動の成果について

・個々の能力に応じた適性作業に結びつけられるよう支援に努めた。

区 分	総売上高	作 業 内 容
受注作業部	1,500,871円	返礼品箱詰め作業、調味料のミニボトルのキャップ、工業関係部品の組立、フルーツキャップ、農業関係手伝他 (前年度より、451,076円増)
外販促進部	434,040円	各種イベント販売他 (前年度より、87,007円減)
就労促進部	2,010,078円	メール便の配達他 (前年度より、578,171円増)
計	3,944,989円	(前年度より、942,240円増)

(2) 利用者工賃支給について

①年間工賃支給総額 2,789,935円（前年度より、362,558円増）

一人当たり月平均支給額（ボーナス含み） 17,064円（前年度より、1,891円増）

・内訳（工賃 11,605円、ボーナス 5,459円）

4 その他の事業・活動について

(1) 送迎サービス

①送迎サービス利用者数（当期末現在） 16名

(2) ボランティア、地域交流、レクリエーション行事への参加

(3) 苦情解決

当事者等からの苦情（不安や悩みを含む）に適切に対応し、今後の事業所運営に反映させる事に努めた。

(4) 事業所利用体験実習、視察、学生体験実習等の受入

①年間事業所見学者数（当事者他） 15名

②年間事業所利用体験者数（当事者） 4名

③年間ボランティア等受入数（学生他） 32名